

# ほうらい

2020年は特別な1年で、皆大変な毎日をご過ごしてきたと思います。

介護保険施設は特別な現場で、感染経路がごくごく限られた利用者の方々と接する職員のみなさまのご苦労は計り知れず、どの施設においても、未経験の敵「コロナウィルス」との戦いに手を焼かれた事と思います。利用者の方々も、面会制限や行事・外出中止等さまざまな制限が課され、不安な日々が続いていると思います。

ともすれば、孤立しがちな個々の施設ですが、私達介護相談員がそれぞれの施設の対策や成功体験等を伝聞し、施設間の橋渡し役も担っていただけると考えております。

そのためにも経験を積み、職員のみなさまに安心していただき、利用者の方々からも信頼して相談していただけるような存在の介護相談員になりたいです。

介護相談員 長谷川有利乃

## 介護相談員派遣事業の概要

市から派遣された介護相談員が介護サービス提供事業所を訪問し、利用者や家族から介護サービスに関する疑問や不満、不安、よかったことや感じていることなどを聞き、サービス提供事業者との「橋渡し」をしながら、問題の改善や介護サービスの質の向上につなげる取り組みをしています。

令和2年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、例年のように多くの事業所を訪問することができませんでしたが、15事業所を訪問し、利用者の声を聞き、事業所や市に伝えることができました。令和3年度は、新型コロナウイルス感染状況をみながら派遣事業を再開していく方向ですので、今後ご理解とご協力をお願いします。



【介護相談員 集合写真】

- 1列目(左から) 坂本幸枝さん、寺川百合子さん、田尻はるみさん  
2列目(左から) 横田一女さん、山本かね代さん、羽根田千代子さん  
3列目(左から) 渡邊幸江さん、石神久美さん、水野京子さん、長谷川有利乃さん  
欄外(左から) 小野勝彦さん、荒井京子さん



# 新型コロナウイルス感染症対策に係る事業所アンケート



介護相談員マスコット  
キャラクター「クー」

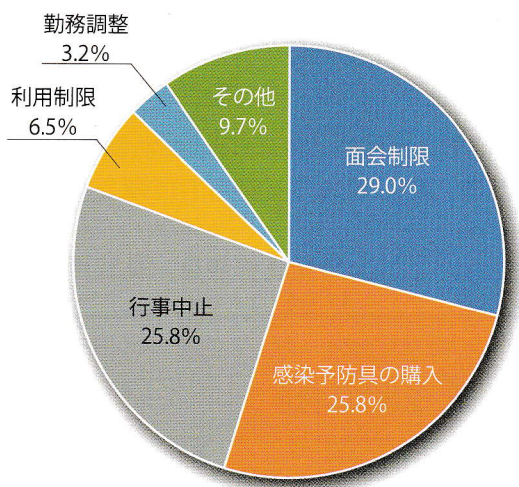
全国的な新型コロナウイルス感染症の拡大により、介護サービス事業所ではどのような感染拡大防止策に取り組んだのでしょうか？

市内の入所系・通所系介護サービス事業所を対象に、アンケート調査を実施しました。

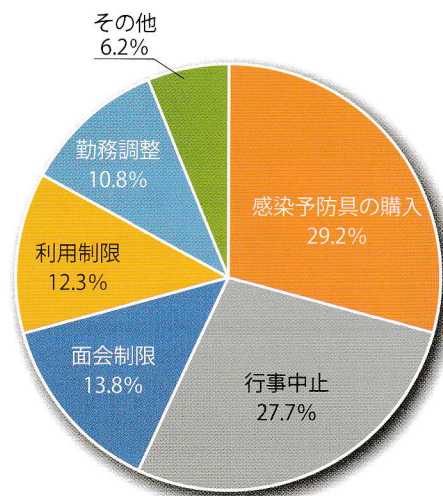
- ・調査対象：令和元年度に介護相談員派遣を受け入れた 90 事業所
- ・調査方法：メール、FAX による配布・回収
- ・調査期間：令和 2 年 12 月 3 日（木）～ 12 月 11 日（金）
- ・回答事業所：39 事業所（回答率 43.3%）

## 問1 感染拡大防止のために取り組んだ内容

### (1) 入所系施設（18 事業所）



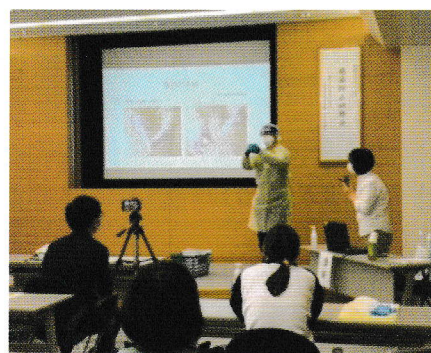
### (2) 通所系施設（21 事業所）



## 問2 具体的な取り組み

### (1) 入所系施設

- ・職員の毎日の健康チェック表を作成した。
- ・業者などの来客者に、県外への往來の確認やバイタル測定など詳しく記入してもらっている。
- ・スリッパ、記入用の筆記用具はこまめに消毒している。
- ・職員や利用者が過ごすスペースに、アクリルパーテーションを導入した。
- ・全職員を対象に、新型コロナウイルス感染症に関する研修会を実施した。
- ・面会制限を行ったため、利用者の様子がわかるように、家族へ電話やカードの送付をした。
- ・施設の行事は一部中止や方法の変更をしたが、入居者等の生活環境を考慮して、行事を分散したり短時間での開催をしたりと、できる範囲で生活を楽しんでいただいている。
- ・ラインテレビ電話面会を行っている。

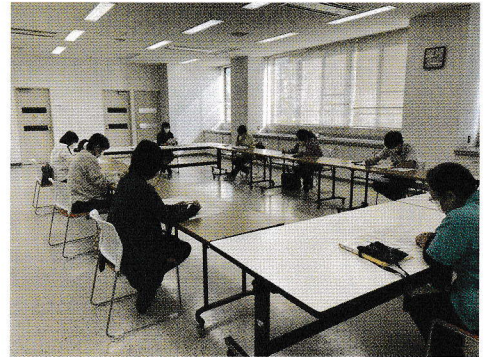


《新型コロナウイルス感染拡大防止研修会》



## (2) 通所系施設

- ・感染拡大地域への訪問等があった場合は、利用を一定期間控えてもらい、訪問介護で対応した。
- ・職員、利用者ともに数回の検温、こまめな手指消毒を行い、複数回の室内消毒、送迎後の車の消毒をしている。
- ・外部との接触が想定できる行事については、延期または中止した。
- ・県外へ行った職員のPCR検査を実施した。
- ・感染拡大地域にやむを得ず出掛けた職員は、2週間の出勤停止にした。
- ・玄関へ消毒液、体温計、外来者名簿を設置している。
- ・送迎時のスタッフは、フェイスガードを着用している。



《新型コロナウイルス感染症に関する  
事業所意見交換会》

### 問3 新型コロナウイルス感染症対策として困ったこと

## (1) 入所系施設

- ・家族と会えないことで入所者の認知症の行動、心理症状が少し増えている。
- ・感染対策で使うプラスチックグローブの在庫が少なく、価格も高騰している。
- ・3密を回避する方法でレクリエーションを行いたいが、実際に行うとなると、利用者間のディスタンスが取れず難しい。
- ・外食や買い物など、利用者と一緒に出掛けることが難しい状況に困っている。
- ・訪問マッサージやリハビリを制限することで、入居者の身体機能の低下がある。

## (2) 通所系施設

- ・認知症の方のマスク着用が難しい。
- ・一定期間のお休み後のADL(日常生活動作)の低下がみられる場合がある。
- ・県外家族との接触に関して、どこまで利用制限してよいか悩んだ。
- ・休校があり、職員の補充をしなければならなかった。
- ・カラオケも感染予防のため控えているが、物足りなさそうな利用者も多く見受ける。
- ・デイホールのテーブルの数に限りがあり、利用者之間隔を空けて座ってもらうことが難しい。
- ・行事の中止が多く、レクリエーションがマンネリ化している。(ボランティアの活用ができない)



《リモート面会》

～ 令和2年3月、介護相談員制度が改正されました ～

国では、介護保険サービスを提供する施設・事業所だけでなく、「住宅型有料老人ホーム」や「サービス付き高齢者向け住宅」など、介護保険外の様々な「サービス」を提供する施設等まで広く派遣するように、「介護相談員」を「介護サービス相談員」に改称しました。ただし、市町村独自の名称でも構わないため、島田市では引き続き「介護相談員」の名称を使用しています。



# ★ 介護サービス相談員永年活動表彰を受賞 ★

平成17年度から15年間にわたり、これまでの経験と知識を日々積み重ねて介護相談員活動に尽力されている坂本幸枝さんが、「介護サービス相談・地域づくり連絡会」から介護サービス相談員永年活動表彰を受賞されました。



【受賞した坂本幸枝さん】

坂本さんは、「利用者が安心して日々を過ごせることを願いながら施設を訪問しています。」と話していました。

## 令和2年度 活動状況

- ◎ 市内介護施設への訪問：1人、又は2人で訪問しました。
- ◎ 連絡会議：月1回、活動報告や情報交換をしました。
- ◎ 研修状況：介護サービス相談員養成研修（介護相談員活動の実績をヒアリング）2名参加  
介護サービス相談員現任研修（活動上の悩みや対応の工夫等、介護相談員間での意見交換）1名参加

## 令和2年度の訪問事業所（順不同） ご協力ありがとうございました。

特別養護老人ホーム	とこは、ひざり
ショートステイ	とこは、ひざり
軽費老人ホーム	ひざり
グループホーム	まーがれっと島田
介護付き有料老人ホーム	でらいと島田
小規模多機能型居宅介護	コミュニティーケア笹間渡
デイサービス	一期一会のデイ御飯屋、一期一会のデイミツ合、島田市川根デイサービスセンター、グラジオ島田、すまいる、ニチイケアセンター金谷、とこは

### 新任の相談員

わたなべ さちえ

渡邊 幸江さん（向谷元町）



新人でわからない事も多いですが、みなさまにお会い出来る日を楽しみにしています。

いしがみ ひさみ

石神 久美さん（船木）



みなさまのお役に立てるよう頑張っていきたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

〈発行・問合せ〉事務局 島田市長寿介護課 〒427-0041 島田市中河町 283-1 島田市保健福祉センター  
電話：0547-34-3294 FAX：0547-34-3289 Email:kaigo@city.shimada.lg.jp